

2024/05/18(土)

あおたなんぼやま  
青田難波山(南葉山) アズマシロカネソウを見に！

メンバー:L 谷内・岩田・辻(記録)・児玉・森田

雪で折れ曲がった木の幹や枝の連続で、「頭上注意」と倒木またぎの連続。残雪と崩落箇所とおぼしき沢筋をトラバース、明神沢先のりっぱなブナ林を通過、渡渉した先にそれは突然あらわれた。

「ネコノメソウ」のリーダーの声に「そうだね」と返事するも、すかさず「アズマシロカネソウだ！！」の声。「え〜?!これが。何て小さいの！」2~3mくらいに群生していた。遠目で一瞬ネコノメソウの群生に見えたが、よくよく見るとかわいらしい白に紫まじりの花が付いている。下向きのかわいい鈴花は下から撮ると中に黄色いメシベが顔のようにあり、何とも愛らしい。代わる代わる写真撮影に没頭。パンフレットの写真はかなりアップされているようで、想像していた大きさとかけ離れていたが、今回のミッション達成！の瞬間でした。

【コースタイム】 天気/快晴 蒸し暑い

07:10 南葉高原キャンプ場下P

07:30 南葉高原キャンプ場

10:20 見晴台

11:40 南葉高原キャンプ場

11:50 南葉高原キャンプ場下P



▲上から見たアズマシロカネソウ



▲下からアップ 可愛い！

今回の目的は上信越方面でしか見られないアズマシロカネソウを見ること。上越市青葉南葉山キャンプ場下の登山者・山菜取り用駐車場は地元の車ばかり。里山なんだね。

予定は登り、明神沢コースから山頂へ、下山は木落コース。通過中のキャンプ場は広いキャンプサイトに大きなテントがいくつも設営され賑わっていた。登山口に大きな看板。この山で見られる花のリストが書いてあるのに肝心のアズマシロカネソウが載ってない！？

明神沢コースの登山口に「崩落個所在り、通行禁止」の表示在り。リーダーの「まあ、行ってみましょう」の一声で警告無視！？(多分下調べで、行った記録ありだったと思われる)

自己責任ということで明神沢コースへいざ出発。いかにも沢コース。滑りやすい粘土質の登山道、川を何回か渡渉しつつ山野草と山菜を探す。登山道脇にはオオイワカガミ、咲き終わったカタクリの実、ショウジョバカマの長く伸びた莖、オオカメノキの白花、タニウツギ、エンレイソウ ets、どれもこれも何て大きいの！ひと月前はカタクリが咲き誇るカタクリロードだったね。サンカヨウ、シラネアオイなどの代表的な山野草もいっぱい！

笹ヤブの中で人がゴソゴソ動いてる様子。山菜のネマガリダケ採取中らしい。採るにはちょっと細すぎるなあ！痩せたワラビが少しとコシアブラがちらほら。リーダーは目利きが早く「コシアブラ」ゲット。大方ちょっと大きくなり過ぎだけど、ちゃんと食べられるくらいは取れた模様。さすがです！

アズマシロカネソウ発見の後、チャルメルソウ(ラッパに似た木管楽器から)、ユキザサ、チゴユリ、ギンリョウソウと珍しい山野草もつぎつぎと見ることができ、最後の急登を上り終えて山頂に到着。広々とした山頂に真新しい標柱が出迎えてくれた(地元のハイキングクラブが設置と表記)。

妙高、火打、焼山が青空バックにくっきり！すばらしい眺望を見ながら大休憩。

木落コースから来られた女性に明神沢コースのアズマシロカネソウ紹介。ピストン予定を変更して下って行った。(帰宅後のヤママップに「アズマシロガネソウ発見できず」とあったとか。あら～残念！)

木落コースから下山。下りは何組かの団体さんとすれ違う。地元からなのか遅い時間に登ってくる。下り始めは残雪があちらこちらに。沢コースはほぼ残雪が無かったが木落コースは結構残っている。キックステップの名残か粘土質の登山道は深くけずられ、名前のとおり急な登山道を一気に下る。ショウジョバカマの色が、白、紫、薄ピンクと多彩で沢山あり、八ヶ岳で見るオレンジ色と違っていた。ムラサキヤシオ、スマレサイシンなどあれどサンカヨウもシラネアオイも無し。山菜も無し。一気に下って12時前に駐車場に戻る。車10台あまり。

2週間前の八石山で見ることがかなわなかったアズマシロカネソウ。あまりに小さくて見逃してしまうのも無理ないのかも。今回見ることができ、ミッション達成！おめでとう！運が良かった。やったね！通行止めの勧告通り沢コースに行かなければお目にかかれなかった。残雪のおかげで崩落地通過できたのかも。大方のパーティーは品行方正に木落コースピストンした模様。ちょっとお気の毒様でした。

天気良すぎて暑く蒸し暑い。汗だくでしたが所々で海と田植えが始まった水田、柏崎原発、遠景の山の眺望(米山？弥彦山？)沢山の山野草も見られてとてもいい山でした。

【その他見た花】ムラサキヤシオ、パイカオウレン、ツクバネウツギ、タムシバ、スマレサイシン  
キクザキイチゲ、ツバメオモトの葉

【見た蝶】ギフチョウ



▲タニウツギ



▲ヒメシャガ



▲サンカヨウ



▲崩落地？  
雪溪のおかげで無事通過



▲アズマイチゲ



▲ヤグルマソウ



▲シラネアオイ



▲りっぱなブナ林



▲サンショウウオの卵らしい



▲アズマシロカネソウ



▲チゴユリ



▲ギンリョウソウ



▲チャルメルソウ



▲ユキザサ



▲新品の標柱と妙高・火打



▲ 白いショウジョバカマ



▲ 妙高・火打